



第23回NM-GCOEセミナー

Christie L. Hunter 博士

(Mass Spectrometry Systems, Applied Biosystems ·
Director of Applications)

2010.1.19

薬学研究科
大会議室

~Emerging Techniques in Targeted Quantitation of Proteins and Peptides in Biological Samples~



今回、Hunter 博士には現在までのプロテオミクス技術の歴史に加え、定量プロテオミクスの概説やその技術を用いた最新の研究成果をご講演していただきました。ICAT や iTraQ 等の定量的プロテオミクスの手法を説明していただき、これまでの問題点の解決法や今後解決していくべき問題点なども明らかにしていただきました。現在、私たちの研究室では定量的プロテオミクスの手法を用いて研究を行っているため、知識を深めそれを今後の研究に活かしていく良い機会となりました。定量的プロテオミクス技術は日々進歩しており、Hunter 博士はその最先端で技術の開発をおこなっているため、今後新たな技術を開発された際にはまたぜひご講演していただければと思います。

小淵 航（薬学研究科薬物送達学分野・大学院生）



終始笑顔で、丁寧な説明の博士



真剣な顔・顔・顔・・・質問も多数出ました



寺崎先生から感謝状贈呈です

参加者の感想

😊 定量の歴史から最新の知見まで、わかりやすく勉強させて頂き、定量法の選択枝がますますバラエティに富んできていることを知りました。今後は、「より安く簡単に確実に」を追求していくことが必要と思います。ディスプレイも活発で、非常に良いセミナーでした。

😊 タンパク質の網羅的同定からスタートしたプロテオミクスの手法が、定量的な情報も得ることで、更なる生命科学の発展につながることを期待しています。

😊 iTRAQ 法や TMT 法を実際に開発した Christie L. Hunter 博士より最新のアプリケーション開発について聞いたことは有意義であった。

各質問に対して、大変丁寧に回答されていた博士の誠実な姿が印象的でした。Hunter 博士は、質量分析装置最大手の会社の開発責任者ということで、現場に即した話の聞ける貴重なセミナーでした。（支援室）